

ま と め

石綿製品の製品区分と使用区分のマトリックスは統計量の得られる区分によって可能な限り定量的にまとめた。

この区分によるアスベスト消費量の割合は大略次のとおりであることがわかった。

石綿製品	24%
石綿セメント製品	68%
その他	8%

代替品についてはアスベストそのものにとって替わることのできる代替材料は現在のところ開発されておらず、用途に応じて新材料の開発をしているのが実状である。今後の技術開発の努力によってアスベストに比して有害性が少ないことは勿論のこと、アスベストと同等かそれ以上の性質をもち、製造価格の上昇を引き起さない代替材料が開発されることが望まれるが、代替品の使用にあたっては、人に対する有害性を把握するとともに、使用された後も追跡調査を実施することが必要である。

本調査により一様のアスベストの製品区分と使用区分のマトリックスが充足したが、今後関係者による更に一層の努力によって、国内におけるアスベストのより具体的・定量的な流通経路を明らかにしていくことが必要であると考え